週刊文春（電子版）による報道について

2022 年 8 月 3 日の週刊文春（電子版）に、広島県教育委員会と特定非営利活動法人パンゲアに関する記事が掲載されました。

パンゲアは、広島県教育委員会の教育事業において、高校生たちが広島から平和を発信する活動や、広島県の未来を探究する活動などを、誠心誠意実施して参りました。

これらの活動では、対面とオンラインを組み合わせた平和に関する国際会議を、高校生自らが企画・運営するとともに、海外の高校生にも呼びかけて、平和発信サイトを創りあげています。また、異なる学校の高校生たちが合同チームを編成し、リモート会議を重ね、広島県の未来図を描く探究活動を実施しました。広島県の高校生たちは、こうした活動のなかで、主体性を磨いてきています。

コロナ禍において学びや交流の機会を多く失われてきたなか、パンゲアは、高校生たちを支援する先駆的で質の高い教育活動を実施し、先生方にもその貢献を認められてきました。

広島県での教育事業に没頭するまさにその過程で、今回、このような報道が行われたことを、とても悲しく残念に思います。

皆さまには、ご心配をおかけして申し訳ありません。

パンゲアは、小さい組織ながらも、質の高い学習機会を国内外に届ける先駆的なプロジェクトに、今後もチャレンジしてまいります。

引き続き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

2022 年 8 月 3 日(水)
特定非営利活動法人パンゲア